

## 武生高 読売教育賞最優秀賞 受賞



田中校長(中央)、授業改善PTのメンバーら武生高校教員

副賞の盾

先日、武生高校『授業改善プロジェクトチーム』が第67回読売教育賞「カリキュラム・学校づくり部門」で最優秀賞を受賞いたしました。教科横断型授業をはじめ、武生高校の教員一人一人の先進的な取り組みが高く評価されました。教員の力だけでなく、本校生徒の優れた資質や積極的な活動姿勢、ひいては保護者の温かいご支援が大きな力となりました。

審査員の佐藤学教授(学習院大学特任教授)からは、「高校の授業改革における卓越した実践事例の一つ」「教科の枠を超えてベテランと若手が学び合う教師の研修としても生徒の学びの改革を実現した実例」と高い評価をいただきました。

今回は改めて授業改善PT(以下PT)の活動をご紹介します。



### そもそもPTで何をしているの？

- ・アクティブラーニングの導入
- ・ICTを活用した授業の実践・研究
- ・教科横断型授業の実践・研究

等の活動をしています。月に一度のPT会議で教科を超えて意見を交換し、職員会議では授業実践報告などを通して全教員に活動の報告をしています。



教科横断型授業の様子(物理×世界史)



(古典×地学)

### 何のためにするの？

- ・大学入試共通テスト(新テスト)対応
- ・新学習指導要領対応
- ・予測不可能な社会を生き抜くために

新テストでは、幅広い知識だけでなく、思考力・表現力・学びに向かう力などが問われていくと予想されます。また、これらの力はこれからの社会で生き抜くために必須となる力です。武生高校で生徒にそのような力を身につけてもらうために我々は活動しています。全ては武高生のために。

その他、日々の活動の記録を本校HPに毎月掲載しております。是非ご覧ください。

### 活動のメリット

新テストや新学習指導要領に対する教員の意識向上になります。また、授業実践によって生徒の知識や理解力だけでなく思考力や表現力などこれから重要となる力を我々が把握する機会が増えます。

### 今後の課題

#### ①生徒の力を見極め、考えて実践

これまでの実践を踏まえ、育てたい生徒像を確立し、生徒のニーズと合致させていきます。

#### ②教科で共有、学校全体で共有

情報をPTだけのものにせず、武生高校全体で共有し、全ての生徒に還元します。